

VI 健康生活支援課の業務概要

健康危機管理体制の整備

「高病原性鳥インフルエンザウイルス」・「新型インフルエンザウイルス」・「新型コロナウイルス」等による新たな感染症や食中毒などの県民の生命や健康の安全を脅かす事案に対応するため、平時から健康危機に関する情報を把握しながら、関係機関・関係団体と連絡を密にし、地域における医療提供体制の確保に努めている。

<疾病対策にすること>

1 結核予防事業

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という）に基づき、結核患者の病状管理及び治療完遂に向け、保健師による訪問、面接、電話等の地域DOTSを行い、治癒の促進、早期の社会復帰及び再発防止等の患者管理に努めている。

結核患者の動向をみると、令和6年の新登録患者数は11名で、前年に比べ減少している。

新登録肺結核患者のうち喀痰塗抹陽性患者の割合は75.0%、罹患率は人口10万対5.8であり、喀痰塗抹陽性患者の割合は前年の28.6%と比べ増加したが、罹患率は前年の人口10万対6.2と比べ減少した。

結核患者発生時には、積極的疫学調査により接触者健診を徹底し、潜在性結核患者等の発見に努め、指導・支援を行っている。

2 感染症予防事業

令和6年は、感染症法に基づく1類・2類(結核を除く)の届出はなかった。

なお、3類感染症は腸管出血性大腸菌感染症1件、4類感染症はE型肝炎2件、レジオネラ症1件の届出があり、5類感染症は梅毒4件、百日咳4件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件、侵襲性肺炎球菌感染症1件の届出があった。

感染症法に基づく疾患やその他集団発生の疑われる事案については、速やかに関係機関と連携を図り、積極的疫学調査を実施し、感染原因、感染経路等の把握に努め感染拡大防止等を図っている。

また、感染症の集団発生を防止するため、集団給食施設従事者や食品取扱事業者に対し検便を勧奨した。

3 エイズ・肝炎対策事業

エイズのまん延を防止するために「正しい知識の普及・啓発」と「相談検査体制の充実」を柱に、各種対策を行っている。

平成18年度からエイズ抗体検査の即日検査と夜間検査を実施しており、平成29年度からは、夜間は通常検査とした。令和6年度は、144件の検査を行い、併せて性感染症等（梅毒・肝炎・性器クラミジア・淋菌）の検査も実施した。

また、青少年に対するエイズ等性感染症対策として、正しい知識の普及啓発を目的として管内の高等学校等を対象とした講習会等、及び普及啓発イベントを実施してきた。令和6年度は、管内高等学校3校に講習会を実施した。

肝炎対策としては、千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業（平成27年10月1日開始）により、肝炎ウイルス検査陽性者に対し、受診勧奨を行うとともに精密検査費用助成事業等について周知し、フォローアップにつなげている。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、管内で被爆者健康手帳を交付されている者は令和6年度末25名である。令和6年度より被爆者の健康管理の一環として行っている健康診断を委託医療機関のみの実施とした。

<生活衛生に関すること>

5 食品衛生事業

当所管内における食品営業許可施設は2,614施設であり、令和6年度の管内における食中毒の発生件数は2件であった。

食品による健康被害の発生防止を図るため、施設や消費者に対して食品の安全確保に係る事業を実施した。

事業内容としては、食品衛生監視計画に基づいた監視指導や食品検査を食品機動監視課と連携して実施し、食中毒の発生防止や違反食品等の排除、食品表示の適正化を図った。また、食品関係従事者に対して講習会を開催して衛生管理の再認識及び意識の向上を促した。

6 狂犬病予防事業及び動物愛護管理事業

「狂犬病予防法」、「千葉県動物の愛護及び管理に関する条例」及び「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づき、市町及び関係団体の協力を得て、犬の登録・狂犬病予防接種の促進、動物による危害発生防止及び飼い主に対する適正飼養の推進を図っている。動物の飼い方に関する苦情については、個別に飼い主指導を行うとともに、パンフレットや市町広報紙等により適正飼養の啓発を行った。

また、特定動物及び動物取扱業の施設に立ち入り、施設基準の適合状況・管理方法等について検査・指導を行った。

なお、飼えなくなった犬及び猫の引取りについては、安い引取依頼を減少させるため平成18年6月からは有料化し、平成23年度には手数料の改定を行うとともに、引取依頼する方に対し飼い主としての責任を果たすよう再考を促す指導、新たな飼い主探しに関する助言を強化している。

7 環境衛生事業

旅館・公衆浴場・興行場・理容所・美容所・クリーニング所の営業関係施設、水道、特定建築物、遊泳用プール等の住民に密着した施設の許認可事務及び立入検査並びに各種の相談の対応を行い、法令等の遵守と適正管理の指導を行なっている。

なお、水道施設に関する権限が、平成25年4月1日水道法の一部改正により管内各市へ移譲された。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

区分	年	平成 22年	平成 27年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年
管 内 人 口		218,565	214,946	203,120	196,341	194,843	192,871	190,460
新 登 錄 患 者 数		20	20	16	13	21	12	11
年 末 時 登 錄 者 数		42	45	51	23	16	31	20
結核死亡者数	管 内	1	4	4	1	2	1	2
	千葉県	89	68	68	71	60	47	59
結核死亡率 (人口 10 万)	管 内	0.5	1.9	2.0	0.5	1.0	0.5	1.1
	千葉県	1.4	1.3	1.3	1.3	1.1	0.9	1.2
罹 患 率 (人口 10 万)	管 内	9.2	9.3	7.9	6.6	10.8	6.2	5.8
	千葉県	17.3	13.7	9.8	8.7	7.5	7.6	8.0
有 病 率 (人口 10 万)	管 内	7.8	3.3	3.0	2.5	8.2	4.1	2.1
	千葉県	12.1	9.0	5.9	5.2	4.9	4.9	4.8

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 / 人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 / 人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町	活動性結核					肺活外動結核性率	占塗肺める割合	占塗肺結核陽の性うのち	無症状病原体保有者（潜伏性結核感染症）	疑似症患者	の結核死死亡者	の結核死死亡疑い者							
	総数	活動性肺結核																	
		計	陽喀痰塗性抹	結核の菌陽性の	そ菌の陰他性														
令和4年	21	17	9	6	2	4	10.8	52.9	10	-	-	-							
令和5年	12	7	2	4	1	5	6.2	28.6	8	-	-	-							
令和6年	11	8	6	2	-	3	5.8	75.0	5	-	-	-							
東金市	4	3	3	-	-	1	7.0	100.0	2	-	-	-							
山武市	1	1	1	-	-	-	2.2	100.0	2	-	-	-							
大網白里市	4	3	2	1	-	1	8.5	66.7	-	-	-	-							
九十九里町	2	1	-	1	-	1	15.0	0.0	-	-	-	-							
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
横芝光町	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-							

(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町	総数	活動性結核						肺活外動結核性率	不活動性結核	不（人口10病万対率）	有（人口10病万対率）	無症状病原体保有者（潜伏性結核感染症）（別掲）					
		活動性肺結核															
		計	陽喀痰塗性抹時	結核の菌陽性の時	そ菌の陰他性時												
令和4年	16	16	14	6	5	3	2	-	-	8.2	2	2					
令和5年	31	8	6	3	2	1	2	1	22	4.1	7	4					
令和6年	20	4	3	2	1	-	1	14	2	2.1	2	4					
東金市	6	-	-	-	-	-	-	5	1	0.0	2	-					
山武市	5	1	1	1	-	-	-	4	-	2.2	-	2					
大網白里市	5	1	1	1	-	-	-	3	1	2.1	-	2					
九十九里町	2	1	1	-	1	-	-	1	-	7.5	-	-					
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
横芝光町	2	1	-	-	-	-	1	1	-	4.8	-	-					

(4) 新登録患者数(年齢階級別)

表1-(4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0 歳	10 歳	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	70 歳	80 歳	90 歳 以上
令和4年	21	-	-	2	-	1	4	2	5	4	3
令和5年	12	-	-	1	2	1	3	-	-	5	-
令和6年	11	-	-	-	-	-	-	-	3	5	3
東金市	4	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-
山武市	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
大網白里市	4	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
九十九里町	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横芝光町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

表1-(5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位:人)

区分 年 市町村	総 数	0 歳	10 歳	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	70 歳	80 歳	90 歳 以上
令和4年	16	-	-	4	1	-	2	1	4	1	3
令和5年	31	-	-	4	3	2	5	2	8	5	2
令和6年	20	-	-	1	2	1	5	1	5	4	1
東金市	6	-	-	-	1	-	3	-	2	-	-
山武市	5	-	-	1	1	1	1	-	-	1	-
大網白里市	5	-	-	-	-	-	1	-	1	2	1
九十九里町	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
芝山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
横芝光町	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-

(6) 患者面接実施状況

表 1 - (6) 患者面接実施状況

区分 年	人數 (人)	DOTS 内容 (延件数)																
		登録時喀痰塗抹陽性							喀痰塗抹陰性				潜在性結核					
		入院時			退院後				訪問	所内	電話・ その他の	薬局	訪問	所内	電話・ その他の	薬局		
		訪問回数	初回	期間内	期間前	退院	面接	訪問面接					訪問回数	初回	期間内	期間前		
令和4年	保健師	4	9	7	2	-	5	5	17	-	10	18	59	-	12	1	53	-
	DOTS 支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬局	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和5年	保健師	4	5	3	2	-	9	7	31	-	26	16	69	-	32	1	71	-
	DOTS 支援員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	薬局	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和6年	保健師	5	25	5	17	3	25	-	21	-	23	7	38	-	5	2	27	-
	DOTS 支援員	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	薬局	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
令和6年	患者数 (人)							8					11				7	

(7) DOTS 実施状況

表 1 - (7) DOTS 実施状況 (単位 : 人)

区分 年		全 結 核 患 者				潜 在 性 結 核 感 染 症	
		肺 結 核 患 者 (再掲)		肺 結 核 咳 痰 塗 抹 陽 性 患 者 (再掲)			
		実施者数	患者数※				
令 和 4 年	実施者数	17		15	7	10	
	患者数※	17		15	7	10	
令 和 5 年	実施者数	12		8	4	6	
	患者数※	12		8	4	8	
令 和 6 年	実施者数	18		11	8	7	
	患者数※	18		11	8	8	

※前年の新登録患者数（転入者を含み、治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く）。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について（情報提供）」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象数 (実人數) ①	実施数 (実人數) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)				結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ツ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜伏性結核感染症	要医療 ③
								塗 抹	培 養				
令和 4 年	25	25	100.0	29	27	-	2	-	-	27	-	1	-
令和 5 年	18	17	94.4	18	18	-	-	-	-	16	-	1	-
令和 6 年	27	27	100.0	34	29	-	5	-	-	26	1	-	-
保健所	4 30 -				-	-	-	-	-				
委託分					-	-	-	-	-				
その他					-	-	-	-	-				

*保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象数 (実人數) ①	実施数 (実人數) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 延件数	実施項目 (延件数)				結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ツ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜伏性結核感染症	要医療 ③
								塗 抹	培 養				
令和 4 年	123	118	95.9	122	91	-	31	-	-	110	2	6	-
令和 5 年	105	104	99.0	105	84	-	21	-	-	98	4	2	-
令和 6 年	183	182	99.5	188	171	1	16	-	-	174	8	-	-
保健所	4 183 1				-	-	-	-	-				
委託分					-	-	-	-	-				
その他					-	-	-	-	-				

*保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1－(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (①) (実人数)	実施者数 (②) (実人数)	実施率 (②)/(①) (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗 抹	培 養	観察不要	経過観察	要医療 (③)	要医療率 (③)/(②) (%)
令和4年	17	17	100.0	19	17	1	1	6	11	-	-
令和5年	22	22	100.0	33	31	1	1	2	20	-	-
令和6年	25	25	100.0	49	35	7	7	11	14	-	-
保健所	-				-						
委託分	49				35						
その他	-				-						

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1－(10)－ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総 数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他の		
				本 人			家 族														
	諮 問	合 格	不 合格																		
令和4年	38	38	-	8	8	-	6	6	-	11	11	-	9	9	-	4	4	-	-	-	-
令和5年	35	35	-	6	6	-	4	4	-	7	7	-	16	16	-	2	2	-	-	-	-
令和6年	18	18	-	4	4	-	2	2	-	1	1	-	10	10	-	1	1	-	-	-	-

表1－(10)－イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総 数			被用者保険				国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他の		
				本 人		家 族													
令和4年	9			2		1		1			5			-			-		
令和5年	4			2		-		-			2			-			-		
令和6年	7			-		-		-			6			1			-		

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
令和4年	9
令和5年	4
令和6年	7

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
令和4年	9	9	12
令和5年	3	3	6
令和6年	7	6	14

表1-(11)-ウ 入院措置数 (単位:件)

区分 年	入院措置数
令和4年	-
令和5年	-
令和6年	-

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況 (単位:件)

区分 年	ツ反検査数 (延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm 未満	30mm 以上	未就学 児	小学校 生	その他
令和4年	-	-	-	-	-	-	-	-
令和5年	-	-	-	-	-	-	-	-
令和6年	-	1	-	1	-	1	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

区分 年	IGRA 検査数 (延件数)		結 果		
	保 健 所	委 託 分	陰 性	判 定 保 留	陽 性
令和4年	15	76	81	1	9
令和5年	66	36	94	1	7
令和6年	8	192	194	3	3

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況 (単位:件)

区分	総 数		接 触 者		管 理	
	保 健 所	委 託 分	保 健 所	委 託 分	保 健 所	委 託 分
令和4年	3	47	-	33	3	14
令和5年	1	50	1	19	-	31
令和6年	-	55	-	20	-	35

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1-(14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

項目 年 区分		対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間接撮影件数	直接撮影件数	喀痰検査件数	が発病の者のおそれ数	患者発見数 ③	患者発見率 ③/② (%)
令和4年		81,504	17,932	22.0	6,193	11,739	150	-	-	-
令和5年		82,543	27,788	33.7	3,959	23,805	123	-	-	-
令和6年		80,905	24,154	29.9	3,285	20,852	94	-	-	-
内訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	2,327	2,203	94.7	1,045	1,158	-	-	-	-
	福祉施設入所者 (65歳以上)	1,603	1,587	99.0	538	1,049	1	-	-	-
	その他施設入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	7,157	6,928	96.8	1,702	5,209	5	-	-	-
	市町長	69,818	13,436	19.2	-	13,436	88	-	-	-

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2－(1) 1類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人數	市町
令和6年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2－(2) 2類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人數	市町
令和6年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2－(3) 3類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年・市町 病類	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
令和4年	—	—	—	—	—	—
令和5年	4	—	—	3	1	—
令和6年	1	—	—	1	—	—
東金市	1	—	—	1	—	—
山武市	—	—	—	—	—	—
大網白里市	—	—	—	—	—	—
九十九里町	—	—	—	—	—	—
芝山町	—	—	—	—	—	—
横芝光町	—	—	—	—	—	—
その他 (管外)	—	—	—	—	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2－(4) 4類感染症病発生状況（発生届受理数） (単位：人)

疾患名		令和4年	令和5年	令和6年
1	E型肝炎	1	3	2
2	ウェストナイル熱	—	—	—
3	A型肝炎	—	—	—
4	エキノコックス症	—	—	—
5	エムポックス	—	—	—
6	黄熱	—	—	—
7	オウム病	—	—	—
8	オムスク出血熱	—	—	—
9	回帰熱	—	—	—
10	キャサナル森林病	—	—	—
11	Q熱	—	—	—
12	狂犬病	—	—	—
13	コクシジオイデス症	—	—	—
14	ジカウイルス感染症	—	—	—
15	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	—	—	—
16	腎症候性出血熱	—	—	—
17	西部ウマ脳炎	—	—	—
18	ダニ媒介脳炎	—	—	—
19	炭疽	—	—	—
20	チングニア熱	—	—	—
21	つつが虫病	1	1	—
22	デング熱	—	—	—
23	東部ウマ脳炎	—	—	—
24	鳥インフルエンザ (鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)	—	—	—
25	ニパウイルス感染症	—	—	—
26	日本紅斑熱	—	—	—
27	日本脳炎	—	—	—
28	ハンタウイルス肺症候群	—	—	—
29	Bウイルス病	—	—	—
30	鼻疽	—	—	—
31	ブルセラ症	—	—	—
32	ベネズエラウマ脳炎	—	—	—
33	Hendraウイルス感染症	—	—	—
34	発しんチフス	—	—	—
35	ボツリヌス症	—	—	—
36	マラリア	—	—	—
37	野兎病	-	—	—
38	ライム病	—	—	—
39	リッサウイルス感染症	—	—	—
40	リフトバレー熱	—	—	—
41	類鼻疽	—	—	—
42	レジオネラ症	—	2	1
43	レプトスピラ症	—	—	—
44	ロッキー山紅斑熱	—	—	—

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2-(5)-ア 5類感染症発生状況(発生届受理数) (単位:人)

疾患名	令和4年	令和5年	令和6年
1 アメーバ赤痢	—	—	—
2 ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	—	—	—
3 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	—	3	—
4 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	—	—	—
5 急性脳炎(ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	—	—	—
6 クリプトスピリジウム症	—	—	—
7 クロイツフェルト・ヤコブ病	—	—	—
8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	—	1	1
9 後天性免疫不全症候群	—	1	—
10 ジアルジア症	—	—	—
11 侵襲性インフルエンザ菌感染症	—	—	—
12 侵襲性髄膜炎菌感染症	—	—	—
13 侵襲性肺炎球菌感染症	—	1	1
14 水痘(入院例に限る。)	—	—	—
15 先天性風しん症候群	—	—	—
16 梅毒	4	11	4
17 播種性クリプトコックス症	1	—	—
18 破傷風	—	—	—
19 バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	—	—
20 バンコマイシン耐性腸球菌感染症	—	—	—
21 百日咳	—	—	4
22 風しん	—	—	—
23 麻しん	—	—	—
24 薬剤耐性アシネットバクター感染症	—	—	—

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2－(5)－イ－(ア)－a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ／新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
6	4	1	2	1	—

b 定点把握対象疾患

表2－(5)－イ－(ア)－b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

	疾患名	令和4年	令和5年	令和6年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	35	2,300	2,367
2	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	—	1,998	2,357
3	RSウイルス感染症	52	15	3
4	咽頭結膜熱	12	224	61
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	86	446
6	感染性胃腸炎	870	750	609
7	水痘	11	6	13
8	手足口病	164	19	517
9	伝染性紅斑	5	1	61
10	突発性発しん	39	29	29
11	ヘルパンギーナ	66	82	54
12	流行性耳下腺炎	18	9	15
13	急性出血性結膜炎	2	1	5
14	流行性角結膜炎	7	18	54
15	性器クラミジア感染症	21	26	16
16	性器ヘルペスウイルス感染症	10	12	21
17	尖圭コンジローマ	9	8	4
18	淋菌感染症	15	13	10
19	非クラミジア性非淋菌性尿道炎	105	99	103
20	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	—	—	—
21	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	—	—	—
22	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	—	—	—
23	マイコプラズマ肺炎	—	—	39
24	無菌性髄膜炎	—	—	—
25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	—	—	—
26	メチシリソ耐性黄色ブドウ菌感染症	—	—	—
27	薬剤耐性綠膿菌感染症	—	—	—

※ 2の疾患は令和5年5月8日から5類定点把握疾患となった。

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) -イ- (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区分	インフルエンザ	小児科	眼科	基幹
医療機関数(箇所)	1	1	—	1
検体提供数(件)	—	—	—	—

(6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況

表 2 - (6) 新型インフルエンザ等感染症発生状況(発生届受理数)

(単位:人)

年	疾患名	人數	市町村
令和6年	—	—	—

※ 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から5類定点把握疾患となった。

(7) その他

表 2 - (7) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位:件)

区分 年度 区分	届出 施設数	届出 患者数	措置			
			学級 閉鎖数	学年 閉鎖数	休校数	その他
令和4年度	12	152	11	1	—	—
令和5年度	128	1,775	71	53	4	—
令和6年度	39	621	16	23	—	—
保育園	2	38	—	2	—	—
幼稚園	—	—	—	—	—	—
小学校	23	245	10	13	—	—
中学校	11	260	5	6	—	—
高等学校	2	54	1	1	—	—
その他	1	24	—	1	—	—

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (8) -ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度 病類	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和6年度	—	—	—

イ 2類感染症

表2－(8)－イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況（結核は除く）

病類 年度	疾患名	調査(人)	検査(件)
令和6年度	—	—	—

ウ 3類感染症

表2－(8)－ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス	
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便
令和4年度	4	7	—	—	—	—	4	7	—	—	—	—
令和5年度	5	53	—	—	—	—	4	10	1	43	—	—
令和6年度	3	4	—	—	2	2	1	2	—	—	—	—

エ 4類感染症

表2－(8)－エ 4類感染症健康調査状況 (単位：調査(人)・施設数(件))

区分	疾患名	調査
令和6年度	E型肝炎	2人・0件
	レジオネラ症	2人・0件
	コクシジオイデス症	1人・0件
	ライム病	1人・0件

才 5類感染症

表2-(8)-才 5類感染症健康調査状況 (単位:調査(人)・施設数(件))

区分	疾患名	調査
令和6年度	—	—

※ 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から5類定点把握疾患となった。

カ 新型インフルエンザ等感染症

表2-(8)-カ 新型インフルエンザ等感染症健康調査状況

(単位:(人)・施設数(件))

区分	疾患名	調査
令和6年度	—	—

※ 新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日から5類定点把握疾患となった。

キ 集団発生事例

表2-(8)-キ 令和6年度感染症集団発生(クラスター)調査状況(単位:年)

疾患名	保育所・幼稚園	学校	児童福祉施設	高齢者施設	障害者施設	医療機関
新型コロナウイルス感染症	—	—	—	20	3	5
感染性胃腸炎	2	—	—	2	1	—
インフルエンザ	—	—	—	2	—	2
手足口病	2	—	—	—	—	—
不明熱	—	—	—	1	—	—

(9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(9) 管外での感染症発生(疑いを含む)に伴う調査数及び検便実施数

区分 年度	総 数	(人) (検疫通報除 く)	発管 生外 にで 数伴 う感 染症 調査	調 査 数 (人)	接 触 疫 者 通 報 及 び に 同 伴 行 う	検 便 実 施 件 数 (人)	検出菌(件)			
							コレラ	赤痢	O157	その他の
令和4年度	3	3	—	3	—	—	—	—	—	—
令和5年度	2	2	—	2	—	—	—	—	—	—
令和6年度	2	2	—	2	—	2	—	—	—	—

(10) 卫生研究所・検査課設置保健所への検査依頼数

表2-(10) 卫生研究所・検査課設置保健所への検査依頼数 (単位:件)

年 度	疾 患 名	結果		計
		陽性	陰性	
令和6年度	細菌性赤痢	—	2	2
	腸管出血性大腸菌感染症	—	2	2
	E型肝炎	—	3	3
	つつが虫病疑い	—	3	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	—	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	—	1
	不明熱	2	4	6
	感染性胃腸炎	13	—	13
	麻しん疑い	—	3	1
	鳥インフルエンザ疑い	—	1	1

(11) 就業制限・入院勧告通知数(結核を除く)

表2-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年度	疾 患 名			計
	腸チフス	腸管出血性大腸 菌感染症	新型コロナウイ ルス感染症	
令和4年度	—	1	—	1
令和5年度	1	1	—	2
令和6年度	—	1	—	1

表2-(11)-イ 入院勧告通知数 (単位:件)

区分 年度	疾 患 名	計
令和4年度	709	709
令和5年度	5	5
令和6年度	—	—

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

表2-(12) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場所	テーマ	実施対象	参加人数(人)
令和6年 7月22日	山武合同 庁舎4階 大会議室 1、2	講演「高齢者施設における感染対策」 演習「個人防護具の着脱・手指衛生を確認しよう」 講師 国立病院機構下志津病院 感染管理認定看護師 森野 誠子氏 情報提供「最近の感染症発生動向と感染症集団発生時の報告について」 講師 山武保健所 健康生活支援課 感染症担当 情報提供「千葉県の結核発生状況と結核対策研修会の開催について」 講師 山武保健所 健康生活支援課 結核担当	高齢者施設の看護師及び介護に携わる職員等	38

(13) 感染症健康危機管理事業

表2-(13)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催日	参加人数	主な内容
—	—	—

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数	主な内容
令和6年 5月21日	45	新型インフルエンザ等の感染症発生時の対応に備え、保健所職員を対象に個人防護具の着脱訓練及びN95マスクの装着訓練を実施するとともに、防疫車の見学を実施
令和6年 9月30日	26	高根病院(第二種感染症指定医療機関)と山武保健所で感染症患者移送訓練を実施
令和7年 1月9・10・16・ 17・20日	67	空気感染対策が確実に実施できるようN95マスクフィットスターを用いたテストを実施

3 エイズ・肝炎対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ マ	対 象	参加人数 (人)
令和6年 6月 20 日	千葉学芸高等学校	青少年に 対するエ イズ等性 感染症対 策講習会	思春期の今だか ら考える ～自分を尊重し お互いを大切に する生き方のた めに～	全校生徒 及び教職員	生徒 395名 教職員 40名
令和6年 7月 17 日	千葉県立東金 商業高等学校	青少年に 対するエ イズ等性 感染症対 策講習会	思春期の今だか ら考える ～自分を尊重し お互いを大切に する生き方のた めに～	全校生徒 及び教職員	生徒 285名 教職員 18名
令和6年 9月 26 日	千葉県立東金 高等学校（定 時制）	青少年に 対するエ イズ等性 感染症対 策講習会	自分と相手の心 と体を大切にす るには	全校生徒 及び教職員	生徒 20名 教職員 7名

イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
令和 6 年 11 月 9 日	エイズ予防啓発キャンペーン 城西国際大学にてポスター・パネル掲示、啓発物資の配布、啓発クイズを実施
令和 6 年 11 月 22 日～ 12 月 13 日	エイズ予防啓発キャンペーン 当センターにてポスター・パネル掲示、啓発物資配付

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

性別 年度	相談方法	男	女	その他	小計	合計
令和4年度	電話相談	10	4	—	14	31
	来所相談	13	4	—	17	
	その他	—	—	—	—	
令和5年度	電話相談	12	7	—	19	84
	来所相談	47	18	—	65	
	その他	—	—	—	—	
令和6年度	電話相談	4	2	1	7	153
	来所相談	112	34	—	146	
	その他	—	—	—	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

(単位：件)

	HIV 検査	クラミジア 検査	梅毒検査	淋菌感染症 検査	B型肝炎 検査	C型肝炎 検査
令和 4年度	22	25	25	25	27	26
令和 5年度	139	125	140	125	139	140
令和 6年度	144	129	143	129	152	148

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4-(1) 被爆者手帳交付状況 (単位:件)

区分 年度 市町	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
令和4年度	35(-)	-	-	-	5	30(-)
令和5年度	30(-)	-	1	-	3	28(-)
令和6年度	28(-)	-	-	-	3	25(-)
東金市	10(-)	-	-	-	1	9(-)
山武市	5(-)	-	-	-	1	4(-)
大網白里市	8(-)	-	-	-	-	8(-)
九十九里町	3(-)	-	-	-	1	2(-)
芝山町	-(-)	-	-	-	-	-(-)
横芝光町	2(-)	-	-	-	-	2(-)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4-(2) 被爆者健康診断実施状況 (単位:人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
令和4年度	保健所	前期	35	3	8.6	-
		後期	35	3	9.1	-
	委託医療機関		-	2	-	2
令和5年度	保健所	前期	30	3	10.0	-
		後期	28	2	7.1	-
	委託医療機関		-	2	-	2
令和6年度	保健所	前期	-	-	-	-
		後期	-	-	-	-
	委託医療機関		-	2	-	1

*令和6年度より保健所での実施を中止し委託医療機関のみとした。

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位:件)

区分	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 数		31	26	25
医療特別手当		1	1	1
特別手当		-	-	-
原子爆弾小頭症手当		-	-	-
健康管理手当		20	18	15
保健手当		4	4	4
介護手当		1	-	3
埋葬料		5	3	3
健康手当		21	20	16

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。